

第2章

教育課程外の時間

- 第1節 平日の取り組み
- 第2節 土曜日や長期休業中の指導
- 第3節 学校行事
(西島 央)

序章

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

第7章

第8章

第9章

第10章

第11章

資料編

第1節

平日の取り組み

「平日の朝読書」は小・中学校ともに9割前後で実施されており、全国的に普及している。「平日の朝学習」は7割強の小学校で実施しているが、中学校は3割強にとどまる。「平日の放課後の補習」は小・中学校ともに2割しか実施していない。

【Q5(学校)】

現行学習指導要領の完全実施に先んじて、PISAの結果などから学力低下の懸念が社会問題となったことを受けて、文部科学省は2002年1月に『学びのすすめ』を発表した。そのなかで示された「確かな学力」の向上のための指導の5つの方策の1つが、放課後の時間などの補充的な学習や朝読書といった「学びの機会を充実し、学ぶ習慣を身に付ける」であった。これを受けて、学校では、教育課程外の時間にもさまざまな学習の機会を見童・生徒に提供するようになってきた。

では、現在、小・中学校では、平日にどのような教育課程外の取り組みをどの程度実施しているのだろうか。ここでは、「平日の朝読書」「平日の朝学習(漢字や計算のドリルなど)」「平日の放課後の補習」の3つを取り上げて、その実施状況を学校調査の結果から詳しくみていくことにしたい。

1) 「平日の朝読書」は 小・中学校ともに9割前後が実施

「平日の朝読書」は、図2-1-1のように、小学校では94.3%、中学校では86.6%の学校で実施されている。実施している学校での週あたりの実施回数を見てみると、小学校では「週1回」「週2回」実施する学校の合計が61.0%なのに対

して、中学校では「週5回」、つまり毎朝実施している学校が60.5%と、週あたりの実施回数には小学校と中学校で違いがみられる。

2) 「平日の朝学習」は7割強の小学校で実施、 中学校は3割強にとどまる

「平日の朝学習」は、図2-1-2のように、小学校では73.3%が実施しているのに対して、中学校では62.6%が実施しておらず、「平日の朝学習」への取り組み状況には小学校と中学校で大きな違いがみられる。実施している学校での週あたりの実施回数を見てみると、小学校では、「週1回」「週2回」実施する学校のほうが多く、中学校では、反対に「週4回」「週5回」実施する学校のほうがやや多い。

「平日の朝読書」と「平日の朝学習」を合わせて考えると、小学校では、多くの学校がどちらも実施しているが、それぞれの週あたりの実施回数は少ないことから、毎朝いずれかを行っているようだ。中学校では、「平日の朝読書」を「週5回」行っている学校が半数強に上る反面、「平日の朝学習」の実施状況は非常に低いことから、「平日の朝読書」だけをほぼ毎朝行うか、「平日の朝読書」と「平日の朝学習」のいずれかを毎朝行うかの2つのパターンに大きく分かれるようだ。

図2-1-1 平日の朝読書（小・中学校）

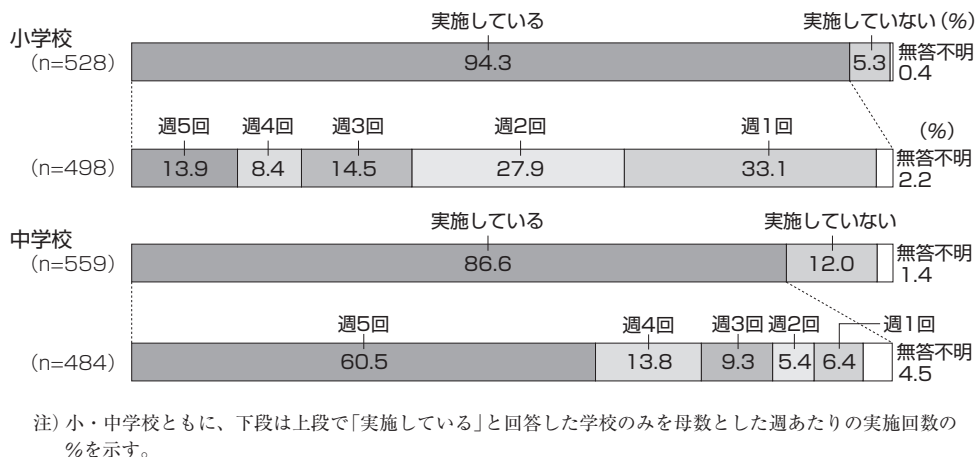


図2-1-2 平日の朝学習（小・中学校）

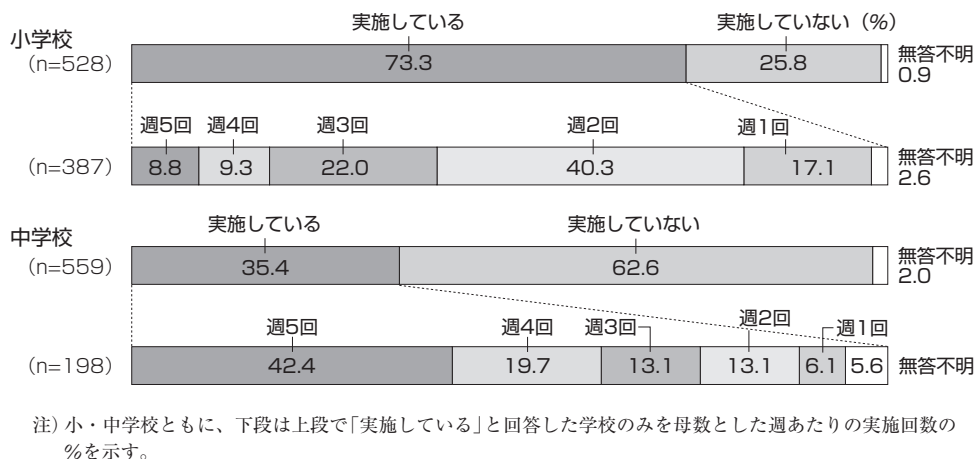
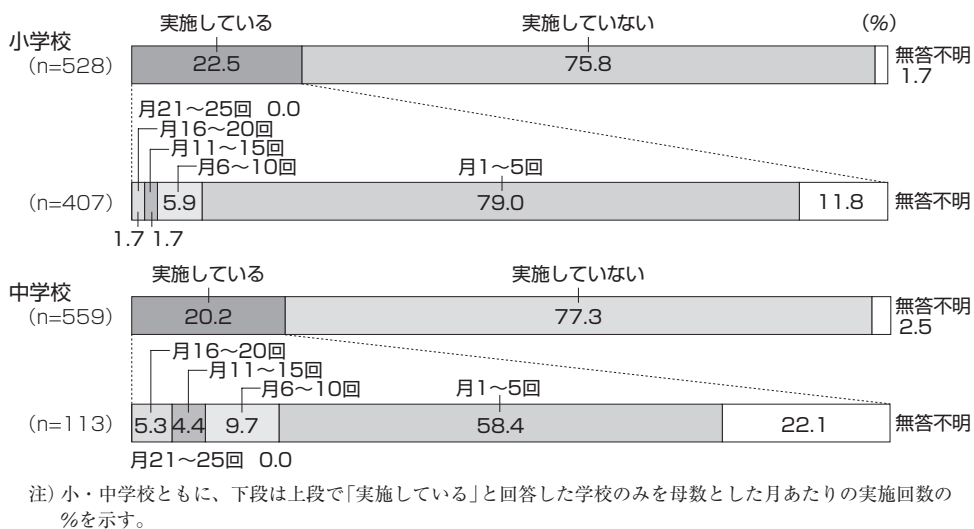


図2-1-3 平日の放課後の補習（小・中学校）



3) 「平日の放課後の補習」は小・中学校とも2割しか実施せず

「平日の放課後の補習」は、図2-1-3のように、小・中学校とも実施しているのは2割ほどにとどまる。また、実施していても、そのほとんどが「月1～5回」、つまり週1回程度の実施にすぎない。どうやら実施する場合でも、職員会議のある日の放課後から会議までの間に実施しているといったところだろうか。登校時刻から1時間目までの慌ただしい間に時間を割く「平日の朝読書」や「平日の朝学習」に比べて、「平日の放課後の補習」は、授業が終わった後に時間をとればいいだけのように思うが、中学校では放課後に部活動が行われている割合が高いことも合わせて、放課後は教務関係以外の校務をこなすので手一杯なのかもしれない。

4) 「平日の朝読書」「平日の朝学習」はそれぞれ小学校で平均約30分、中学校で平均約50分

ところで、教育課程外の時間に行われる学習時間はいったいどれくらいなのだろうか。実施率の高い「平日の朝読書」と「平日の朝学習」

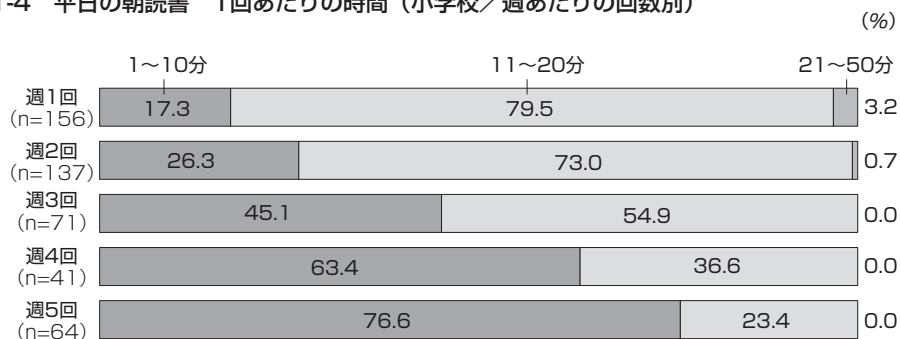
についてみていくことにしよう。

図2-1-4は小学校の「平日の朝読書」、図2-1-5は小学校の「平日の朝学習」について、それぞれ週あたりの実施回数別に1回あたりの時間をまとめたものである。

小学校では、1回あたりの実施時間が「1～10分」が20%前後から70%台まで、「11～20分」が20%台から80%近くまでの広い範囲に分布している。「平日の朝読書」をみると、「週1回」実施の場合は79.5%が「11～20分」行っているが、「週5回」実施の場合は76.6%が1回あたり「1～10分」行っている。「平日の朝学習」も同様に、週あたりの回数が増えるにつれて1回あたりの時間が短くなっている。

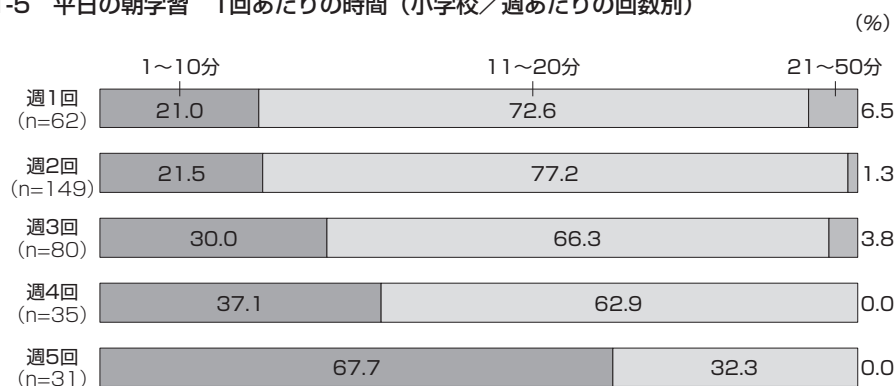
さらに、週あたりの延べ実施時間に直して分布をまとめたものが表2-1-1と表2-1-2である。「平日の朝読書」も「平日の朝学習」も「15分」から「50分」まで広く分布していて、小学校では、いずれも高い実施率ながら、かけている時間は多様である様子がうかがえる。なお、平均実施時間は、「平日の朝読書」が31.1分、「平日の朝学習」が34.9分であった（図表省略）。

図2-1-4 平日の朝読書 1回あたりの時間（小学校／週あたりの回数別）



注) 平日の朝読書を「実施している」と回答した学校のみ対象。週あたりの回数と1回あたりの時間の「無答不明」は分析から除外した。

図2-1-5 平日の朝学習 1回あたりの時間（小学校／週あたりの回数別）



注) 平日の朝学習を「実施している」と回答した学校のみ対象。週あたりの回数と1回あたりの時間の「無答不明」は分析から除外した。

表2-1-1 平日の朝読書の週あたり延べ実施時間（小学校）

(%)

時間	小学校 (n=469)
10分	5.8
15分	22.4
20分	11.7
25分	0.9
30分	24.7
40分	9.0
45分	7.9
50分	10.4
60分	3.8
65分	0.2
75分	3.0
80分	0.2

注1) 平日の朝読書を「実施している」と回答した学校のみ対象。

注2) 延べ実施時間は、週あたりの実施回数と1回あたりの実施時間を掛け合わせて算出した。

表2-1-2 平日の朝学習の週あたり延べ実施時間（小学校）

(%)

時間	小学校 (n=357)
10分	3.9
15分	10.1
20分	11.2
25分	1.7
30分	33.9
40分	8.7
45分	12.3
50分	5.6
60分	8.4
75分	3.1
80分	0.6
90分	0.6

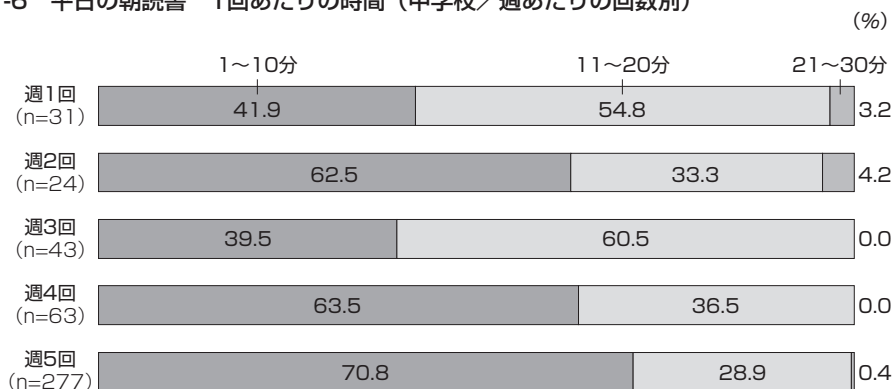
注1) 平日の朝学習を「実施している」と回答した学校のみ対象。

注2) 延べ実施時間は、週あたりの実施回数と1回あたりの実施時間を掛け合わせて算出した。

中学校についてもみていこう。図2-1-6は「平日の朝読書」、図2-1-7は「平日の朝学習」について、それぞれ週あたりの実施回数別に1回あたりの時間をまとめたものである。中学校では、1回あたりの実施時間が「1～10分」が40%台から70%台まで、「11～20分」が30%前後から60%前後までの狭い範囲に分布している。「週1回」と「週5回」を比べると1回あたりの実施時間は「週1回」のほうが長い傾向がみられるものの、週あたりの実施回数と1回あたりの時間の間に小学校ほどはっきりした対応関係はみられない。

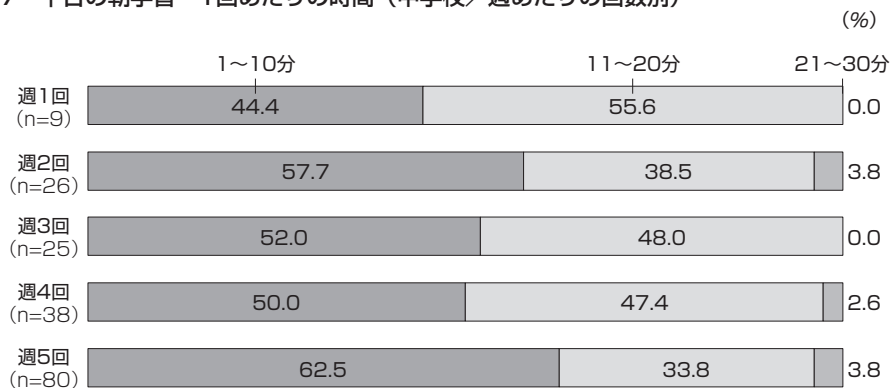
さらに週あたりの延べ実施時間に直して分布をまとめたものが表2-1-3と表2-1-4である。「平日の朝読書」は「50分」に44.5%が、「平日の朝学習」は「30分」から「50分」に50%強が集まっているように、「平日の朝読書」はどの学校でも1週間に50分程度、「平日の朝学習」は、行っていないか、行っている場合は30～50分程度と、実施状況が大きく2つのパターンに分かれている様子がかがえる。なお、平均実施時間は、「平日の朝読書」が50.7分、「平日の朝学習」が50.0分であった（図表省略）。

図2-1-6 平日の朝読書 1回あたりの時間（中学校／週あたりの回数別）



注) 平日の朝読書を「実施している」と回答した学校のみ対象。週あたりの回数と1回あたりの時間の「無答不明」は分析から除外した。

図2-1-7 平日の朝学習 1回あたりの時間（中学校／週あたりの回数別）



注) 平日の朝学習を「実施している」と回答した学校のみ対象。週あたりの回数と1回あたりの時間の「無答不明」は分析から除外した。

表2-1-3 平日の朝読書の週あたり
延べ実施時間（中学校）

(%)

時 間	中学校 (n=438)
10分	3.0
15分	2.1
20分	5.3
25分	0.7
30分	5.3
40分	9.6
45分	4.3
50分	44.5
60分	5.9
75分	14.4
80分	0.9
100分	3.9
125分	0.2

注1) 平日の朝読書を「実施している」と回答した学校のみ対象。

注2) 延べ実施時間は、週あたりの実施回数と1回あたりの実施時間を掛け合わせて算出した。

表2-1-4 平日の朝学習の週あたり
延べ実施時間（中学校）

(%)

時 間	中学校 (n=178)
5分	2.2
8分	2.2
10分	0.6
20分	9.6
25分	1.7
30分	11.8
40分	10.7
45分	4.5
50分	27.0
60分	7.9
75分	9.6
80分	4.5
100分	6.2
125分	0.6
150分	1.1

注1) 平日の朝学習を「実施している」と回答した学校のみ対象。

注2) 延べ実施時間は、週あたりの実施回数と1回あたりの実施時間を掛け合わせて算出した。



第2節

土曜日や長期休業中の指導

小学校では、土曜日の指導は「学習・体験活動の紹介」が中心だが、長期休業中は「教員による学習の指導」など教員主体の取り組みが半数以上の学校で行われている。中学校では、土曜日も長期休業中も「教員による部活動の指導」が9割以上の学校で行われている。【Q4(学校)】

現行教育課程における完全学校週5日制の導入にともない、土曜日の指導が学校の重要な課題の1つとなってきたが、学力低下の懸念が社会問題となるなかで、土曜日に加えて長期休業中も利用して学習の機会などを提供する取り組みが多くみられるようになってきた。

では、現在、小・中学校では、土曜日や長期休業中にどのような指導をどの程度行っているのだろうか。前節に引き続き、学校調査の結果からみていく。

1) 半数以上の小学校で長期休業中に「教員による学習の指導」を実施

小学校の土曜日と長期休業中の指導の内容を表2-2-1からみていこう。土曜日の指導は、「地域の団体が企画・運営する学習・体験活動の紹介」の35.6%と「教育委員会などの公的機関が企画・運営する学習・体験活動の紹介」の34.8%が目立つ一方、「教員による学習の指導」「学校が実質的に企画・運営する学習・体験活動」はともに10%未満と、教員が直接かかわる取り組みは非常に少ない。

しかし、長期休業中は、「地域の団体が企画・運営する学習・体験活動の紹介」と「教育委員会などの公的機関が企画・運営する学習・体験活動の紹介」も40%台と土曜日よりも多くの学校が取り組んでいるが、もっとも多くの学校が

取り組んでいるのは「教員による学習の指導」の57.8%で、「学校が実質的に企画・運営する学習・体験活動」も32.6%と、土曜日とは異なり、長期休業中には教員主体の取り組みが半数以上の学校で行われている。

2) 大半の中学校で土曜日・長期休業中の部活動指導、長期休業中の学習の指導を実施

中学校の土曜日と長期休業中の指導の内容を表2-2-2からみていこう。土曜日の指導でもっとも目立つのは「教員による部活動の指導」で、97.1%とほとんどの学校で行われている。「教員による学習の指導」は4.7%にとどまっているものの、多くの教員が土曜日でも生徒の指導に直接かかわっていることがわかる。

現行学習指導要領では、クラブ活動の廃止により部活動の制度的な裏づけがなく、部活動の顧問をしている教員の個人的な負担が大きかったが、次期学習指導要領では、部活動指導が教育課程と関連づけられる予定で、事実上ほとんどの学校で行われていた土曜日の部活動指導がどのように制度化されるか、きわめて重要な課題となるだろう。

長期休業中は、「教員による部活動の指導」が97.7%とほとんどの学校で行われているのに加えて、「教員による学習の指導」が83.0%、「学校が実質的に企画・運営する学習・体験活動」

表2-2-1 土曜日・長期休業中の指導の内容（小学校）（n=528）（%）

	土曜日	長期休業中
教員による学習の指導	2.8	57.8
学校が実質的に企画・運営する学習・体験活動	8.7	32.6
学校が、公的機関、地域の団体、PTAなどに企画・運営を依頼して行う学習・体験活動	22.9	22.0
教育委員会などの公的機関が企画・運営する学習・体験活動の紹介	34.8	49.1
民間企業が企画・運営する学習・体験活動の紹介	12.3	20.1
地域の団体が企画・運営する学習・体験活動の紹介	35.6	43.2

注) 複数回答。

表2-2-2 土曜日・長期休業中の指導の内容（中学校）（n=559）（%）

	土曜日	長期休業中
教員による部活動の指導	97.1	97.7
教員による学習の指導	4.7	83.0
学校が実質的に企画・運営する学習・体験活動	15.7	40.8
学校が、公的機関、地域の団体、PTAなどに企画・運営を依頼して行う学習・体験活動	15.0	25.4
教育委員会などの公的機関が企画・運営する学習・体験活動の紹介	27.7	48.3
民間企業が企画・運営する学習・体験活動の紹介	8.8	16.5
地域の団体が企画・運営する学習・体験活動の紹介	28.6	41.0

注) 複数回答。

が40.8%と、さまざまな教員主体の取り組みが多く、多くの学校で行われている。

なお、「地域の団体が企画・運営する学習・体験活動の紹介」と「教育委員会などの公的機関が企画・運営する学習・体験活動の紹介」も、土曜日には3割近く、長期休業中には4割台の学校で行われている。

3) 土曜日の指導は02年調査に比べて 学校主体の取り組みが増加

完全学校週5日制が導入されて5年が過ぎたが、土曜日の指導の内容には変化がみられるのだろうか。02年調査と比較可能な14地域のデータを取り出して、表2-2-3で比べてみよう。小・中学校ともに以下の2つの共通した変化の傾向がみられる。

第一に、「教員による学習の指導」「学校が実質的に企画・運営する学習・体験活動」「学校が、公的機関、地域の団体、PTAなどに企画・運営を依頼して行う学習・体験活動」の3つの取り組みは、02年調査よりも数ポイント～10ポイント程度増加している。第二に、「地域の団体が企画・運営する学習・体験活動の紹介」「教育委員会などの公的機関が企画・運営する学習・体験活動の紹介」の2つの取り組みは、02年調査より10～20ポイント程度減少している。

第三者による学習・体験活動の紹介が減り、学校が自ら取り組んだり依頼したりする学習・体験活動が増えており、土曜日の指導に対して

学校が主体性を高めつつあるといえる。

4) 学校選択制導入の学校ほど学校主体の 土曜日の指導が盛ん

では、なぜ、学校主体の土曜日の指導が増えてきたのだろうか。どのような学校が学校主体の土曜日の指導を行っているかをみてみよう。表2-2-4は、小・中学校それぞれに、学校選択制導入と非導入に分けて、「教員による学習の指導」「学校が実質的に企画・運営する学習・体験活動」「学校が、公的機関、地域の団体、PTAなどに企画・運営を依頼して行う学習・体験活動」の3つの学校主体の取り組みの実施状況をまとめたものである。小学校の「学校が実質的に企画・運営する学習・体験活動」以外は、学校選択制導入の学校のほうが取り組んでいる割合が高いことがわかる。

長期休業中は、すでに小学校で半数以上、中学校ではほとんどの学校で、学校主体の指導が行われているが、学校選択制導入にみられるように、学校の特色化が求められているなかで、土曜日に関しても、学校の主体的な指導の取り組みがますます増えていき、完全学校週5日制の意義は実質的に失われていくことになるのではないだろうか。授業時数増加の流れのなかで、土曜日の扱いについて、個々の学校レベルに任せるとはならず、各自治体や国家レベルでの政策の検討が望まれる。

表2-2-3 土曜日の指導の内容（小・中学校／地域限定・経年比較）

(%)

	小学校		中学校	
	02年調査 (n=642)	07年調査※ (n=211)	02年調査 (n=603)	07年調査※ (n=228)
教員による部活動の指導	—	—	95.2	98.7
教員による学習の指導	0.5	4.3	1.3	6.6
学校が実質的に企画・運営する学習・体験活動	4.8	10.0	7.6	13.2
学校が、公的機関、地域の団体、PTAなどに企画・運営を依頼して行う学習・体験活動	16.0	25.1	10.4	14.0
教育委員会などの公的機関が企画・運営する学習・体験活動の紹介	58.6	39.8	45.4	32.0
民間企業が企画・運営する学習・体験活動の紹介	16.8	13.3	10.1	10.1
地域の団体が企画・運営する学習・体験活動の紹介	62.0	38.9	46.1	33.3

注) 02年調査、07年調査とも複数回答。

※ 07年調査は02年調査と同じ14地域に限定した母数で値を算出した。

表2-2-4 土曜日の指導の内容（小・中学校／学校選択制導入・非導入別）

(%)

	小学校		中学校	
	学校選択制導入 (n=44)	学校選択制非導入 (n=473)	学校選択制導入 (n=67)	学校選択制非導入 (n=475)
教員による学習の指導	4.5	2.7	11.9	3.6
学校が実質的に企画・運営する学習・体験活動	6.8	8.9	20.9	14.9
学校が、公的機関、地域の団体、PTAなどに企画・運営を依頼して行う学習・体験活動	36.4	22.0	19.4	14.7

注1) 複数回答。7項目のうち3項目を抜粋。

注2) 「学校選択制導入」は、小学校で「小学校の学校選択制が導入されている」、中学校で「中学校の学校選択制が導入されている」に「あてはまる」と回答した学校。「学校選択制非導入」は、小・中学校とも「あてはまらない」と回答した学校。「無答不明」は省略した。

第3節

学校行事

「運動会（体育祭）」はほとんどの小・中学校で行われている。小学校では「遠足」「文化祭（学芸会、音楽会）」が、中学校では「文化祭」「合唱などのコンクール」「校外での宿泊を伴う行事（修学旅行、林間学校など）」が、それぞれ8割以上の学校で行われている。 【Q11(教員)】

完全学校週5日制の教育課程下にあって学力低下の懸念が社会問題となってきたここ数年、それぞれの学校では、授業時数の確保のために教育課程の工夫をしたり、教育課程外に学習の時間を設けたりする取り組みを行っている。しかし、それでもなお、「学校行事にあてる時間が十分にとれない」「学校行事を減らさざるをえない」といった悩みをしばしば耳にする。では、現在、小・中学校ではどのような学校行事をどの程度実施しているのだろうか。02年調査と比べて変化がみられるのだろうか。

小・中学校でどのような学校行事が年に何回行われているかを、図2-3-1と図2-3-2からみていこう。なお、学校行事は学年によって行われているものや回数が異なるため、その実施状況については教員調査でたずねている。そのため、回答者が主として受け持っている学年での学校行事の回数をまとめたものなので、それぞれの学校の特徴をそのままあらわしているとはいえないことを前もって断っておく。また、以下各項の小・中学校の学年別実施状況の記述と、02年調査からの変化の記述においては図表は省略している。

1) 遠足

小学校では53.9%が「年に1回」、33.0%が「年に2回以上」（「年に2回」＋「年に3回以上」

の%、以下同）行っている。「やっていない」という回答は11.5%である。学年別には小1生の5.1%から小6生の19.9%までの学年でも「やっていない」という回答があることから、遠足をまったく行っていない小学校が数パーセントはあるのではないかと。中学校では41.9%が「年に1回」行っているが、47.9%とほぼ半数が「やっていない」と回答している。学年による違いを考慮しても、半数近い中学校で遠足は行われていないようだ。また、小・中学校ともに学年が上がるにつれて実施回数が減っている。これは後にみるように、上級学年では「校外での宿泊を伴う行事」が行われる割合が高くなることと関係しているのだろう。

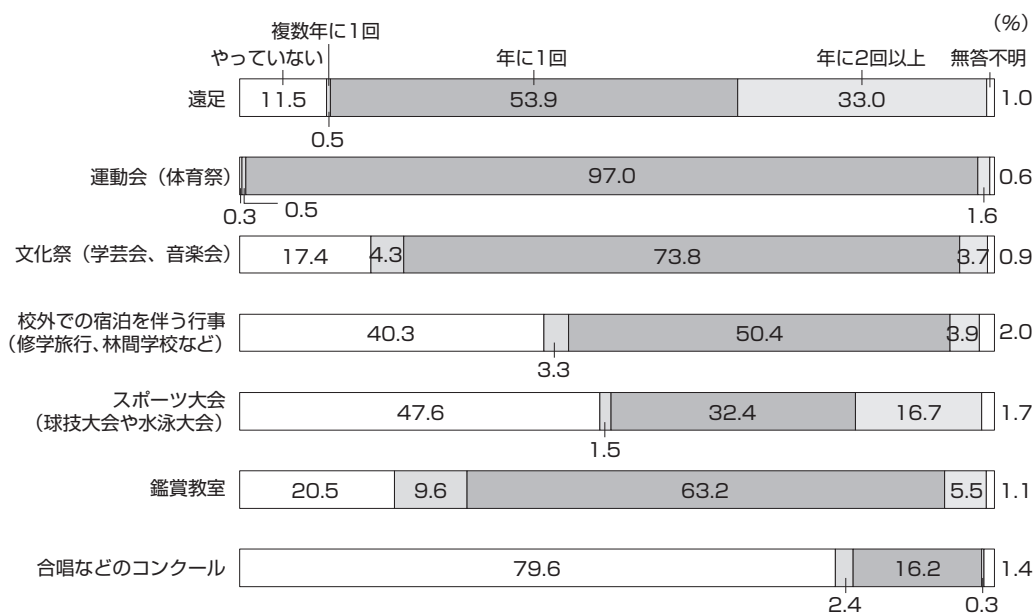
2) 運動会（体育祭）

小・中学校ともに9割以上の学校で「年に1回」以上行われている。「やっていない」という回答は、小学校で0.3%、中学校で4.3%にすぎず、もっとも多くの学校で行われている学校行事である。

3) 文化祭（学芸会、音楽会）

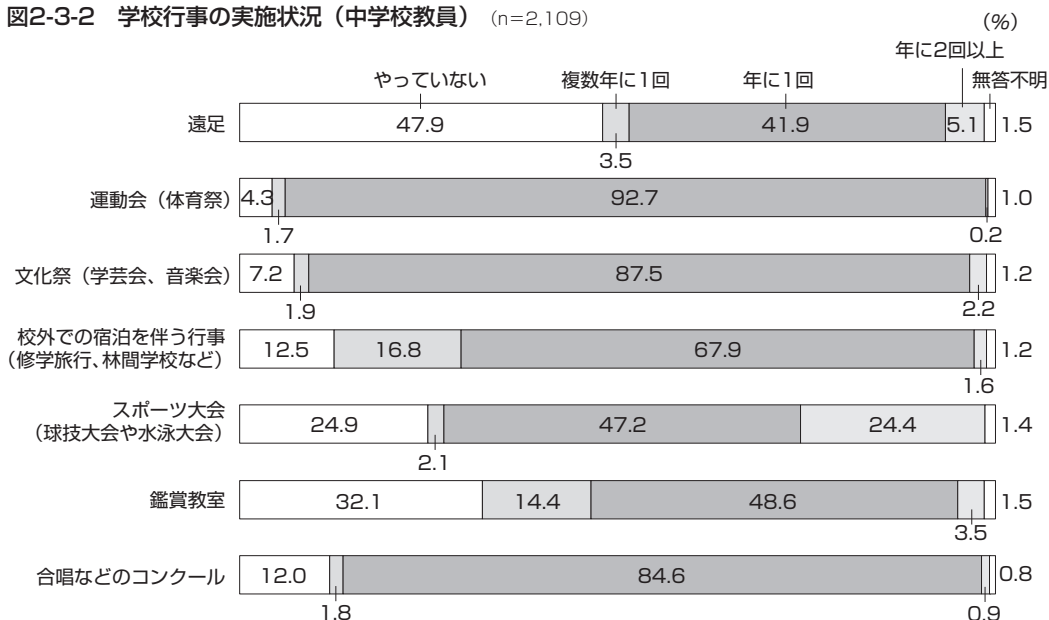
小学校では「年に1回」が73.8%、「やっていない」が17.4%で、「運動会」「遠足」に次いで多くの学校で行われている。中学校では「年に1回」が87.5%、「やっていない」が7.2%で、「運動会」に次いで多くの学校で行われている。

図2-3-1 学校行事の実施状況（小学校教員）（n=1,872）



注) 「年に2回以上」は「年に2回」+「年に3回以上」の%。

図2-3-2 学校行事の実施状況（中学校教員）（n=2,109）



注) 「年に2回以上」は「年に2回」+「年に3回以上」の%。

4) 校外での宿泊を伴う行事 (修学旅行、林間学校など)

小学校では40.3%が「やっていない」、50.4%が「年に1回」で、中学校では67.9%が「年に1回」、16.8%が「複数年に1回」、12.5%が「やっていない」となっている。しかし、先に述べたように、実施状況は学年によって大きく異なっている。つまり、小学校では、小4生以下の学年で「複数年に1回」以上行っている割合は3~4割程度なのに対して、小5生、小6生では95%以上が「複数年に1回」以上行っている。また、中学校でも中1生と中3生では10ポイント強ほど中3生のほうが行っている割合が高い。

5) スポーツ大会(球技大会や水泳大会)

小学校では「年に1回」が32.4%、「年に2回以上」が16.7%、「やっていない」が47.6%で、中学校では「年に1回」が47.2%、「年に2回以上」が24.4%、「やっていない」が24.9%となっており、小学校より中学校でやや多く行われている。学年別には、小学校では小4生以下より小5生以上のほうが20ポイントほど実施率が高いが、中学校では学年による差はない。

6) 鑑賞教室

小学校では63.2%が「年に1回」、9.6%が「複数年に1回」、20.5%が「やっていない」で、中

学校では48.6%が「年に1回」、14.4%が「複数年に1回」、32.1%が「やっていない」となっており、中学校より小学校でやや多く行われている。学年による差は小・中学校ともほとんどみられない。

7) 合唱などのコンクール

中学校では84.6%が「年に1回」行われており、「運動会」「文化祭」に次ぐ定番の学校行事だが、小学校では「やっていない」が79.6%と、大半の学校で行われていない。

8) 02年調査からの変化

最後に、02年調査からの変化を確認しておく。5ポイント以上の変化がみられたのは、小学校では、「遠足」「文化祭」「スポーツ大会」「鑑賞教室」だった。「遠足」は「年に2回以上」から「年に1回」へ、「スポーツ大会」と「鑑賞教室」は「年に1回」から「やっていない」へと5~10ポイント程度減少する傾向がみられたが、「文化祭」は反対に「やっていない」から「年に1回」に数ポイント増加する傾向がみられた。中学校では、「校外での宿泊を伴う行事」で数ポイントほど減少する傾向がみられたほかは、ほとんど変化がみられなかった。授業時数の確保や増加のために学校行事を精選するという動きは、ここ数年はみられなくなってきているようだ。